



安全で安心に暮らせる 宮川流域を目指して

平成24年5月撮影

宮川床上浸水対策特別緊急事業完成

国土交通省中部地方整備局 三重河川国道事務所

1. 概要

平成16年9月28日～29日の台風21号による洪水で宮川右岸中島・大倉地区において発生した159戸に及び浸水被害に対し、平成16年度より「宮川右岸緊急対策」として、宮川右岸の堤防を整備しました。

平成18年度からは「宮川床上浸水対策特別緊急事業」として、総合的な治水対策をさらに重点的に進め、床上浸水被害の解消及び地域の安全・安心の確保を図りました。



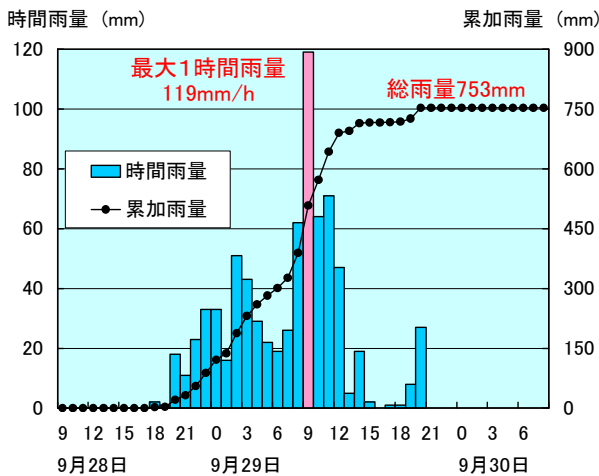
宮川流域面積：920km²
宮川幹川流路延長：91km

2. 降雨・出水状況

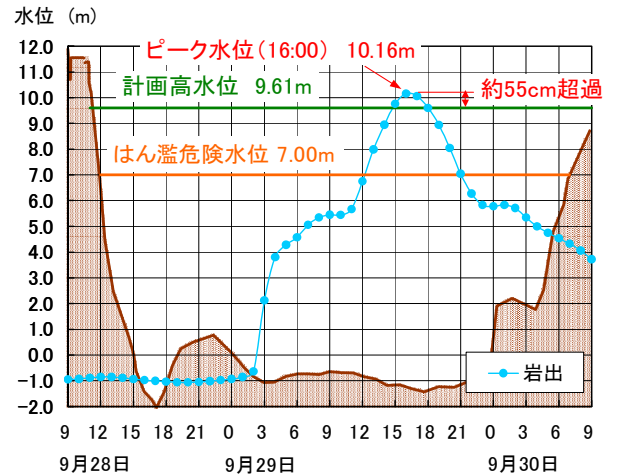
三重県中南部では、平成16年9月28日～29日の台風21号に秋雨前線が重なったことにより、各地で1時間に100mmを超える雨が降り、総雨量は約1,000mmに達する地域もあるなど、記録的な豪雨となりました。

宮川では、台風21号の接近に伴い、28日の19時から翌29日21時まで激しい雨が降り続き、宮川雨量観測所においては最大時間雨量119mm、また岩出水位観測所（河口から11.6km付近）においては計画高水位を55cm上回る10.16mの水位を記録し、昭和50年の観測開始以来最高の雨量および水位を記録しました。

宮川流域雨量（宮川雨量観測所）



出水状況（岩出水位観測所）



※0点高 (T.P.3.89m)

- 計画高水位とは・・・河川の堤防工事の計画上、その堤防が耐えられる最高の水位（規定断面確保）
- はん濫危険水位とは・・・洪水により氾濫の恐れがある水位（堤防の整備状況により異なる）

3. 被害状況

宮川右岸に位置する伊勢市中島二丁目地内から同市佐八町字中瀬地内までの区間では、堤防が未整備であったことに加え、河道の流下能力が低かったことから、宮川の水位上昇による溢水により、床上浸水114戸、床下浸水45戸、浸水面積37.1haにも及ぶ甚大な浸水被害が発生しました。



※三重県伊勢市役所調べ

4. 事業の概要

宮川の治水対策

平成16年9月の台風21号洪水による氾濫で、家屋が浸水被害を受けた伊勢市中島～佐八町地区において、堤防整備や河道掘削などの治水対策を実施し、再度同規模の洪水が発生した場合でも、洪水を安全に流下させるとともに、床上浸水被害の解消を図りました。

・堤防整備

堤防が未整備となっていた7.2km～10.4kmの約3,300mの区間において堤防を整備しました。また、堤防整備に伴い、宮川への流入支川及び排水路において必要となる樋門・樋管を設置しました。

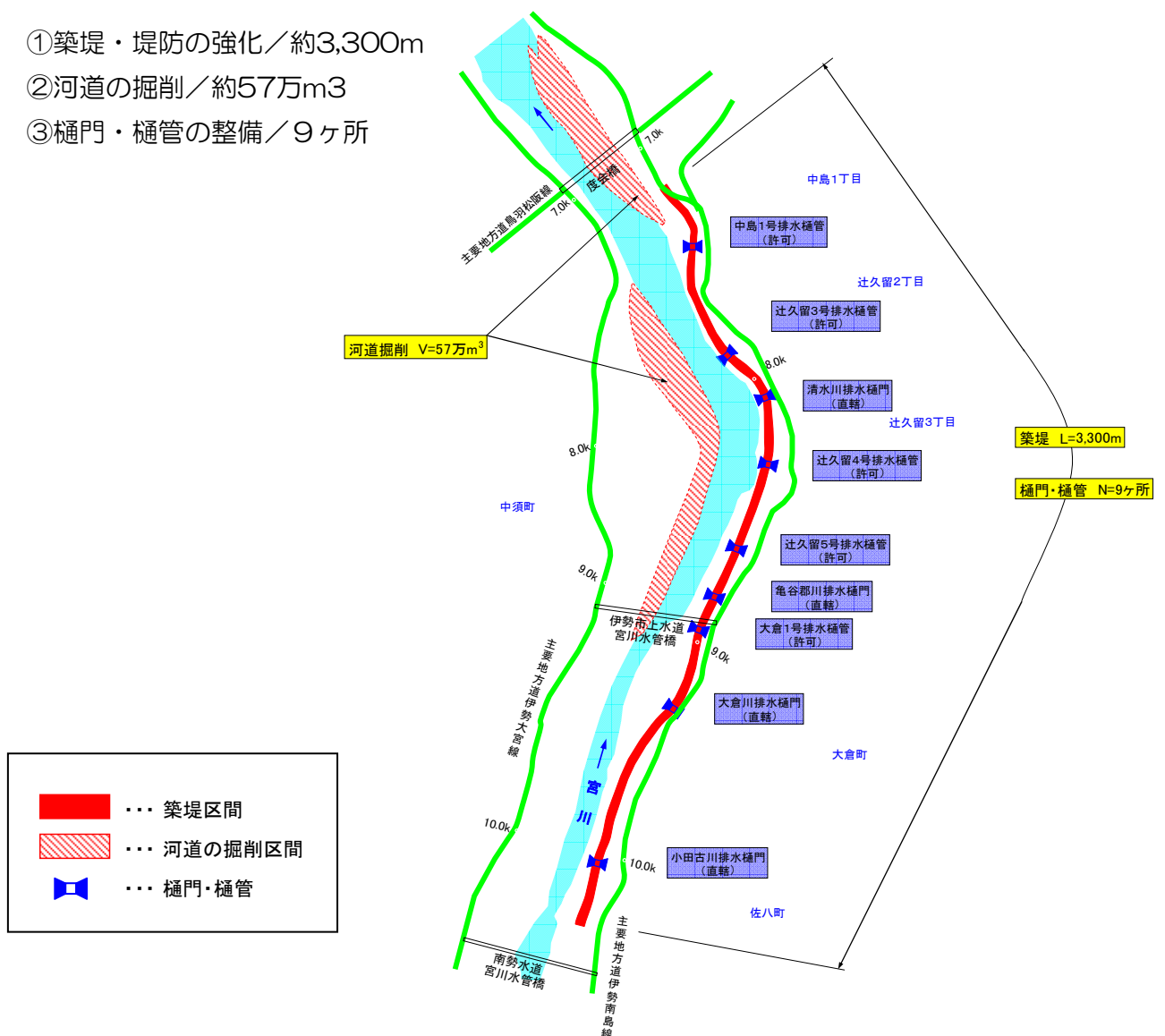
・河道掘削

平成16年9月台風21号と同規模の洪水が再度発生した場合においても、洪水を計画高水位以下で安全に流下させるための河道掘削を実施しました。

堤防整備

事業費／約114億円

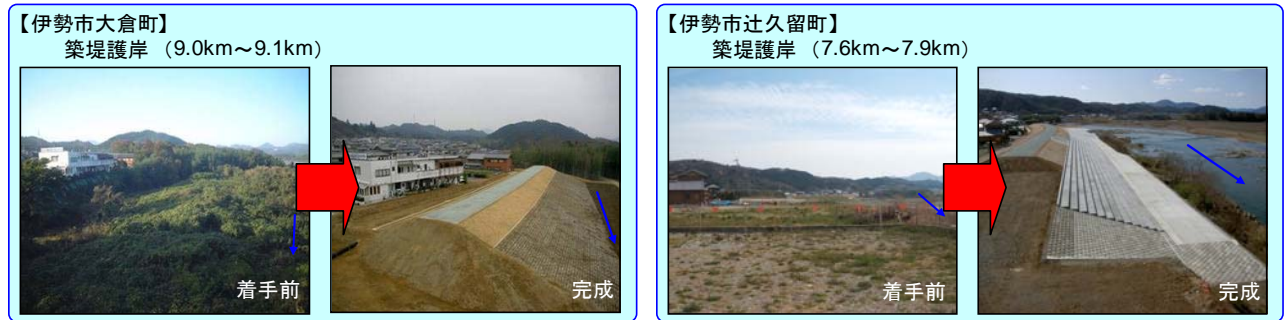
- ①築堤・堤防の強化／約3,300m
- ②河道の掘削／約57万m³
- ③樋門・樋管の整備／9ヶ所



5. 宮川床上浸水対策特別緊急事業工事の概要

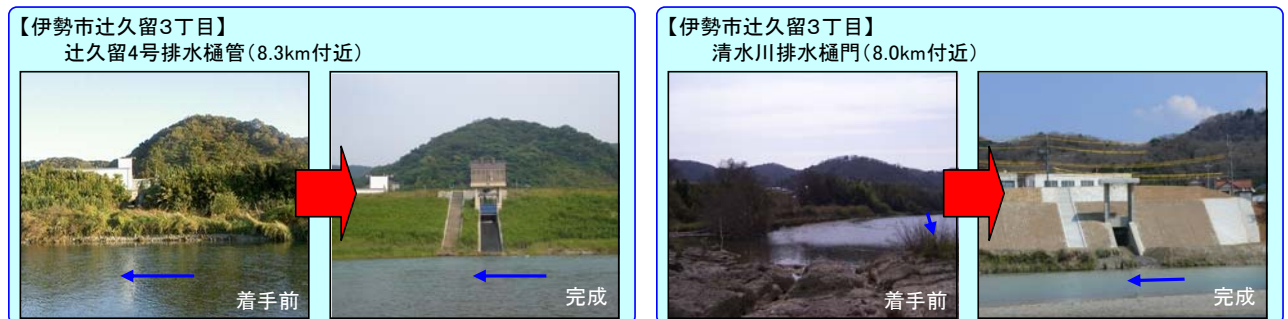
① 築堤

堤防が未整備となっていた伊勢市中島～佐八町において、約3,300mの堤防を整備することにより洪水を安全に流下させるとともに、床上浸水被害の解消を図りました。



② 樋門・樋管整備

樋門・樋管を9ヶ所設置することにより、準用河川（亀谷郡川・大倉川）、普通河川（清水川・小田古川）及び排水路から宮川本川へ安全に排水ができるようにしました。



③ 河道掘削

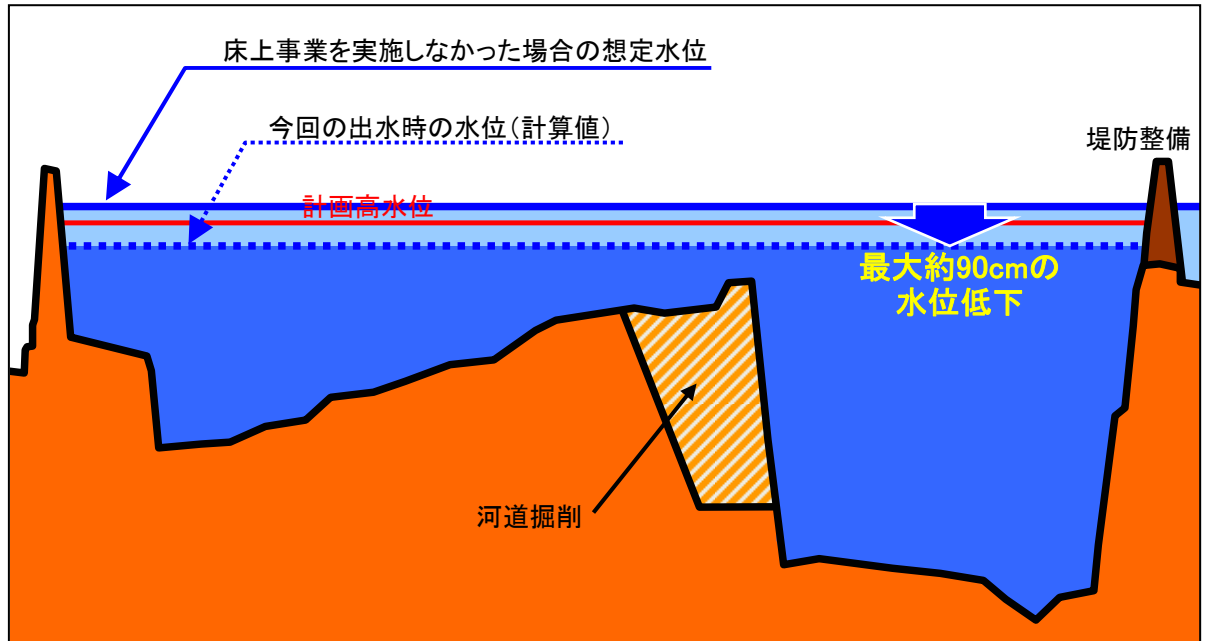
約57万 m^3 の河道掘削により河川水位を低下させ、流下能力を向上させました。また、河道掘削に際しては、自然な水辺が広がるように工夫し、豊かな自然環境の保全に努めました。



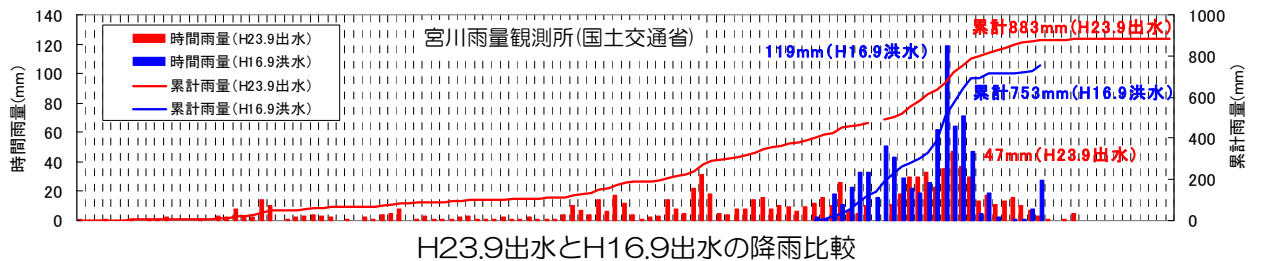
6. 事業効果

効果 浸水家屋・区域の低減及び河川水位の低下

平成23年9月の台風12号による出水は、甚大な被害が発生した平成16年洪水と同規模程度の出水であったが、事業区間において河道掘削により最大約90cmの水位低下を図り、堤防整備により浸水被害が大幅に解消されました。



事業区間における水位低下イメージ



堤防整備箇所の出水時の状況
(宮川右岸：伊勢市辻久留地区)

7. 事業の実施に際して

① 委員会の開催

宮川における環境整備検討委員会

本事業では、広範囲にわたる築堤や河道掘削を短期間で実施する必要がありました。

事業の実施に際しては、河川環境への配慮のみならず、利用・周辺環境・景観などに配慮する必要があり、河川環境や景観に関する学識経験者及び地元関係者を委員とする「宮川における環境整備検討委員会」を設立し、河道掘削計画及び堤防整備計画の整備方針を決定しました。

宮川床上浸水対策特別緊急事業監理委員会

事業の実施に際し、適正な事業の執行を図るために、河川・経済・環境に関する学識経験者等を委員とする「宮川床上浸水対策特別緊急事業監理委員会」を設立し、意見・助言を頂きながら事業を実施しました。

② 事業用地の取得等に関するご協力

地域住民の皆様方には、本事業の推進に格別のご配慮を賜り、短期間で平成16年の台風21号による甚大な被害に対する再度災害防止対策を完成することができました。

特に、本事業にご理解をいただき、事業のために必要な用地取得（42.7ha）、家屋移転（37戸）などにご協力いただきました多数の皆様方に厚く御礼申し上げます。

8. より安全な河川を目指して

河川情報の提供

「川の防災情報（インターネット）」、「河川情報システム（iモード）」等により、全国のリアルタイム雨量・水位などの情報が提供されています。

川の防災情報（インターネット）・・・<http://www.river.go.jp/>

河川情報システム（iモード）・・・<http://i.river.go.jp/>



国土交通省 中部地方整備局
三重河川国道事務所

〒514-8502

三重県津市広明町297 TEL(059)229-2211

URL <http://www.cbr.mlit.go.jp/mie/>